(撮影地:富士宮市(田貫湖)) (写真提供:静岡県観光協会) 1

# ふじのくにDX推進計画の進捗と課題

ふじのくにDX 推進計画 (2022-2025)

### 基本理念

誰にも優しく、 誰もが便利に、 安全・安心、 そして豊かに

### 目指す姿

デジタル技術が支える新しい静岡 ~場所、時間、所有、言語の制約から解 放された共創社会の実現~ 1 デジタルデバイド対策の実施

第 2 超スマート社会の実現に向けた環境整備

の 3 デジタル技術の実装の促進

4 新しい生活様式への対応

5 データの分析・利活用の推進

▼ X 推 進

ふじのくに

施策を支える人材・基盤の強化

## 地域社会のデジタル化

基準値 (2020年度)	現状値 (2021年度)	目標 (2025年度)		
① 公開データの利用件数				
11,295千件	17,237千件	43,800千件		
② デジタル技術の社会実装を行った件数				
_	2件	累計10件		

### 行政のデジタル化

基準値 (2021年度)	現状値 (2022年度)	目標 (2025年度)	
③ 行政手続のオンライン化対応済割合			
27.8%	<b>36.</b> 2%*1	80%	
④ 県庁内の総文書保管量			
1億9,400万枚	— 〔モデル所属で〕 約56.1%減	50%減*2	
*1 速報値 *2 2026年度目標値			

### デジタル化を支える人材・基盤強化

基準値 (2021年度)	現状値 (2022年度)	目標 (2025年度)	
⑤ ICT人材を確保している企業の割合			
48.0%	55.2%	58%	

### DX計画は順調に進んでいるが、新たな課題等への対応が求められている

- ・<mark>急速なデジタル化の進展</mark>により、世代 間や地域等における情報格差が発生
- ・デジタル技術の実証事業を社会実装 するためには、専門的な知見に基づく 支援が必要
- ・10年程度で文庫使用率が100%に近づくため、既存文書の電子化と、紙資料を発生させない仕組づくりが必要
- ・デジタルを活用した業務効率化には、 一気通貫したシステム環境が必要だが、セキュリティの担保が不可欠
- デジタルのニーズが高まり、官民とも にデジタル技術を活用するための人材 が不足
- ・<mark>サイバー攻撃が巧妙化</mark>し、最新の セキュリティ対策が不可欠

計画の進捗状

# 令和5年度ふじのくにDX関連予算の状況

# 令和5年度 ふじのくにデジタルトランスフォーメーション推進関連事業

② 東アジア文化都市構造

令和5年度 34.3億円 (110.6%) 31.1 億円 令和 4 年度

### デジタル化の推進に必要な デバイド対策の実施

- 0.8億円(年0.9億円)
- ・地域での相談役となるデジタルサポーターの商職拡大
- -デジタルを介した背景者トラブル初止の取削の推進 私立学校におけるICT首段音音の情報支援

### 雌スマート社会の実現に向けた 環境學儀

3.3備円(第1.4備円)

- 市町の情報システムの標準化・共適化への支援拡充 グランシップ等有料会議室への高速インターネット競場の整備 動転角終証とマイナンバーカードの一体化に向けたシステム整備
- 開議会におけるデジタル化の推進

### デジタル技術の実装の促進

- 9.3爾円(④8.7億円)
- 災害情報収集システムの改良
- ・ 森名湖市博20周年記念事業におけるアンクルは長力実験 ・ 静岡型LMS(学習管理システム)のモデル校における業績 ・ 衛星直撃を活用した護士の監視指導の実施

# 難にも優しく 離もが便利に 安全・安心 そして豊かに

# 新しい生活様式への対応

- 4.0億円(年6.7億円)
- 申請手動料や施設利用料等のキャッシュレス決済の推進 ・企業におけるテレヴーク導入への支援
- 在宅ワークや顕素器を支援するクラウドサービスの実証



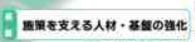
- うウンドテーブル等による民間ニーズに卸したオープンテータ表面の 観光情報プラットフォームの機能強化、デジタルマークティングの推進 一夕清雨の推賞
- △3次元点酵データを活用したデジタルツインの用。

トップレベルから表世代まご問題ごとのデジタル人材の確保・育成の推進 出版や子房でなどで長期を買している女性等への打入キルの国場支援 行通における製単な機器セキュリティの最新モデルの機能



データの分析・利活用の推進

14.3無円(④10億円)





2.6億円(④3.4億円)

# 地域社会のデジタル化(1)

# デジタルデバイド対策 -

デジタル機器に不慣れな方の身近な相談役

# 「デジタルサポーター」の育成 を開始

受講後には自主的な地域活動がスタート!







リモート相談会、スマホ操作支援窓口

令和4年度 令和5年度 ✓ 育成数)年間300人 500人に拡充

# オープンデータの利活用

# アイデアソン・ハッカソン、ふじのくに オープンデータ ラウンドテーブル を開催







ラウンドテーブル(1/23) 提案団体によるプレゼン 県職員との意見交換

アイデアソン・ハッカソン

✔ 令和5年度は、地域ワークショップ、データソン、企業とのマッチング も新たに実施

# 地域社会のデジタル化 (2)

### ふじのくにデジタル化事業 -

令和4年度は、各部局と連携し、**9件の実証事業**を実施

### 主な実証事業



透明ディスプレイを用いた 多言語音声翻訳 ⇒窓口における言葉の壁を解消





**水道管路台帳の 3 次元化** ⇒埋設管の 3 次元点群データ取得 将来、電気、ガス等の占用事業者に展開



見守るバス停 ⇒AI顔認識により、自動運転における乗降管理、料金徴収の課題を解消





スマホ用 防犯アプリケーション ⇒県警察が発信している情報を一元的に提供

✓ 令和5年度は、仮想現実など新たな技術の活用を促進

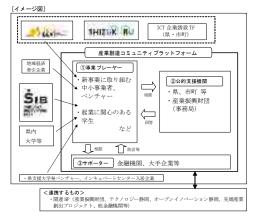
### 5

# 地域社会のデジタル化(2)

# ふじのくにデジタル化事業 -

令和3年度の実証事業の結果を踏まえ、2件が実装

# ■しずおか産業創造プラットフォーム



### 実装後の状況

- ・会員数734人 (R5.1.20現在)
- ・事業承継など、分野別のトーク ルームを開設
- ・協業等に関する相談投稿12件 (協業先等を調整中)
- ・イベントPR等の投稿135回

# MAD (B) MADE TO

# ■図書館のデジタル化



中央図書館において以下を実証

- ・図書貸出カードの電子化 (スマホ表示)
- ・電子図書館の導入(電子書籍の貸出)
- ・自治体発行紙の自動収集

### 実装後の状況

利用者番号バーコードのスマホ表示 2,860件(4月から12月末まで)

### 電子書籍

1,333点購入済

利用件数6,645件(4月から12月末まで) 電子申請による利用者登録

1,810件(4月から12月末まで)

✓ 令和5年度は、民間人材を活用し、実装に向けた伴走支援を実施

6

# 行政のデジタル化

### 行政手続のオンライン化

契約事務負担の軽減に向けた電子契約、利便性向上に向けた電子納付 の実証に着手





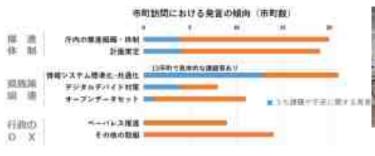


10手続のフロー見直し、4手続で電子納付を試行中

✓ 令和5年度は、必要な体制等を整備し、<u>10月の本格運用</u>を目指す

### 市町DXの支援

情報システムの標準化・共通化の移行(~令和7年度末)に向け、アウトリーチ型の「市町支援」を開始



個別説明会

職員基礎研修

市町訪問を通じて把握した課題・不安感

✓ 令和5年度は、市町とシステムベンダーとの調整も支援

7

# デジタル化を支える人材・基盤強化

# 職員のDX人材育成

各部局のDX推進を担う「専門人材育成講座」を開講 DX推進に関して、ソフトバンクと連携協定を締結



専門人材育成講座には、 若手・中堅職員が25名参加



ソフトバンクと協定締結(令和5年1月26日)

✓ 令和5年度は、若手・中堅職員による<u>DX推進チーム</u>の活動を支援 連携協定に基づく職員交流により部局の取組を伴走支援

# 庁内のセキュリティ向上

三層の対策による**セキュリティ保持、システム調達におけるチェック**を実施



「三層の対策」



システムを利用する委託 における**ガイドライン**や **チェックリスト**を事業担 当課に提供予定

✓ 令和5年度は、セキュリティと外部インターネットの利便性を両立するモデルを検討 システムを利用する外部委託事業 をチェック対象に追加

O